

トークディスカッション 「日本一暮らしやすい埼玉」の実現に向けて

埼玉県知事 **大野もとひろ**

戸田市長 **すがわら文仁**

埼玉県議会議員 **このの桃子**



このの 新型コロナや物価高騰など難問が山積する中、生活に直結する地方政治に課せられた責任を感じています。感染対策と経済の両立により安心・安全を確保し、少子化対策を進めていかなければなりません。

市長 戸田市では、感染症予防対策と生活支援対策により市民の命と暮らしを守ることを最優先に取り組んでいます。その上で、出産・子育て応援給付金事業や不妊治療助成などの少子化対策も着実に進めています。

知事 暮らしの正常化には、新型コロナやロシアによるウクライナ侵略による影響を受けた経済の回復は喫緊の課題です。埼玉県では2023年を「ポストコロナ元年」として大きな変革に取り組んでいきます。その中で重要課題である少子高齢化へもしっかり取り組んでいきます。

このの 新型コロナだけでなく首都直下型地震や鳥インフルエンザなど多くのリスクを抱えながらも、埼玉県の目指す「日本一暮らしやすい埼玉」を実現するために変革、改革を主導していくのは政治家の使命だと思います。特に戸田市は2019年の台風19号の際に甚大な浸水被害が発生しました。私のところにも浸水被害にあった多くの方から切実なお声が届いています。温暖化による災害リスクを抱える地域として、治水対策には積極的に取り組んでいくべきです。

市長 戸田市では、子育て、健康、防災を「3大プロジェクト」として最重要課題にあげて様々な取り組みを推進しています。これは市だけで完結できるものではなく、このさんが県とのパイプ役として政策や予算につなげて実施されている事業もたくさんあります。特に、子育て支援関連は制度として深い関わりがありますし、河川整備などの治水事業は流域で連携していかなければならない課題。これらにいち早く取り組んで頂き感謝しています。

知事 県政と市政の両方に精通し、また子育て中でもあるこののさんは県政にとって貴重な存在です。一般質問でも、県民・市民のみなさんからの声をもとに念入りな調査をして、具体策を提示する説得力のある発言をしていただき大変感服しました。

このの ありがとうございます。地方行政は河川や道路などが場所によって市と県とで管轄が分かれていたり、道路は市でも信号機は県警が管理しているなど、生活者には分かりにくい面もあります。生活の身近な課題を解決することも県議会議員の重要な仕事です。

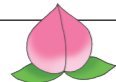
市長 市議と県議として10年間の実績があり、2児の子育て真っ最中のこののさんだからこそ、子育てしながら働く女性が多い戸田市民の声を政策に反映することができると思います。これからも期待しています！

知事 埼玉県内の63市町村がそれぞれの個性を発揮して輝くことで「日本一暮らしやすい埼玉」が実現できます。若く勢いのある戸田市には、ぜひ経済で県を牽引していただきたい。県と市をつなぐ橋渡し役として、こののさんの一層のご活躍を期待しています。

このの 埼玉県や戸田市の目指すビジョンを、知事、市長、そして地域の皆さんとしっかり共有して、日頃の活動に活かしてまいります。本日はありがとうございました。



このの桃子 プロフィール



【経歴】昭和58年3月2日生、新曽小学校、頤栄女子学院中学校・高校、慶應義塾大学、慶應義塾大学大学院法務研究科(法務博士(専門職))、内閣府非常勤職員、国会議員公設秘書、戸田市議会議員(2期)、埼玉県議会議員(戸田市初の女性県議として当選)、政党無所属
【資格等】保育士、防災士、全国手話検定1級、FP3級、書道師範、2児の母

無所属県民会議 戸田支部 このの桃子

〒335-0023 戸田市本町1-21-8-1F
TEL & FAX: 048-235-5358

ホームページ <https://konnomomoko.com/>
メールアドレス info@konnomomoko.com

ホームページは
こちらから



討議資料

トーク
ディスカッション

政策集

埼玉県知事
大野もとひろ × 戸田市長
すがわら文仁 × 埼玉県議会議員
このの桃子

新しい未来をつくる
8つの挑戦

2児の母



埼玉県議会議員 **無所属**

このの桃子

安心と希望の
埼玉県
戸田市へ

この桃子政策集

新しい未来をつくる

8つの挑戦



県政に送り出していただいてから1期4年間、多くの皆さまからいただいたご意見を、県政の場で全力で訴えてまいりました。引き続き、県民の命と暮らしを守り、日本一住みやすい埼玉県を実現するため精一杯活動してまいります。

……このが大切にしている3つのこと……

1 未来を見据えて政策を進めること

社会情勢、県政の課題を捉え、議会での提言を重ねて政策を実行します。



2 活動を見える化すること

SNSやレポート配布、駅頭活動や県政報告会で活動報告を続けます。



3 優しく公平公正であること

弱い立場に寄り添い、声なき声、小さな気づきを県政に届けます。



アール・ブリュット(障がい者アート)を応援しています



1 ウイズコロナの危機管理



ワクチン集団接種リハーサル

感染対策と経済の両立

- 治療薬およびワクチンの安定供給体制の整備
- 迅速な検査・処方と後遺症ケア体制の強化
- 感染症拡大防止と社会経済活動の両立支援

経済の危機から暮らしを守る

- 原油・物価高騰の影響下にある事業者への緊急支援
- 県内企業の経済活動の回復・成長を支援
- 県内企業の生産性向上支援と賃金上昇の推進

コロナ禍から子どもを守る

- オンライン教育等学習機会の確保
- 子どものための豊かな運動やスポーツの場づくり
- コロナ禍での心のケア

2 安心・安全の防犯・防災



ポートコースの治水を推進

河川整備、治水を加速

- 水門整備や排水能力向上による治水対策を加速
- 雨水貯留施設整備や下水道機能強化による豪雨対策の推進
- 笹目川・さくら川・菖蒲川・緑川等の流域治水対策の強化

埼玉県警の機能強化

- 警察官数全国ワースト1位(人口比)の埼玉県警の増員・機能強化
- 特殊詐欺・サイバー犯罪の撲滅
- 自転車レーンの拡充や通学路の安全対策

地域防災力の向上

- 実践的な防災訓練の実施と防災士の育成推進
- 福祉避難所の増設とペット同行避難支援の推進
- 大震災に備えた都市基盤強靱化の推進

3 安心できる子育て環境



コロナ禍での出産を経験

子ども真ん中社会の実現

- 保育所・学童保育室の処遇改善と体制強化
- 地域子育てサポート体制の整備と活動支援
- 子ども食堂等子どもの居場所確保と地域で子どもを育てる仕組みづくり

ママ一人が頑張らなくてよい社会を

- 産前産後ケアの拡充による「孤育て」の解消
- 産休・育休の取得、仕事との両立支援
- ママになっても自分らしく生きる社会の実現

ひとり親家庭への物心両面の支援

- ひとり親家庭が養育費を受け取れる支援体制の整備
- 子どもの貧困対策、虐待防止と子どもの権利擁護
- 子育て支援員の増員や育成支援

4 未来志向の教育改革



町会サマースクールを見学

未来志向の公教育改革

- 県立高校の体制強化、部活動の拡充支援
- STEAM教育*1やPBL*2による未来志向の教育を推進
- 豊かな人間性や生きる力を育む教育の推進

いじめゼロ!不登校児の居場所支援

- いじめの根絶と、不登校・高校中途退学の対策強化
- 不登校の児童生徒のための支援体制の整備
- 発達障がいへの理解の促進と支援の拡充

誰も取り残さない教育を

- 特別支援教室・学校の拡充
- 児童虐待・DV防止対策の推進と社会的養護の充実
- 教職員の働き方改革と教育現場でのICTの活用促進

5 長寿社会の健康・福祉



車いすバスケットを体験

長寿社会への支援を

- 生活習慣病・認知症の予防で健康長寿を推進
- 健診率の向上、医療費の適正化を推進
- シニア向けの雇用促進で働く場を拡大

介護の課題に全力で取り組む

- 老老・在宅介護、ダブルケア支援、介護職員の処遇改善
- 職業訓練による介護人材の育成、定着の推進
- 介護テックの導入による介護体制の支援

地域で助け合う高齢化社会へ

- 地域医療・救急医療・在宅医療体制の充実
- 地域包括ケアシステムの構築
- シニアの生涯学習と社会参加を支援

6 誰もが輝く共生社会



障がい者支援について一般質問

男女共同参画の推進を

- 長時間労働の是正やシェアワーク等働き方改革の推進
- 男女共同参画基本計画の普及・啓発
- 女性の就業・キャリアアップへの支援

障がい者の自立・生活支援

- 手話の普及・啓発につながる環境の整備
- 障がい者の住宅、日中活動の場の確保・支援
- 企業・学校間連携による障がい者の雇用機会創出

多様性を尊重する社会へ

- 人権問題教育の推進とLGBTQへの理解促進
- 社会的弱者の権利擁護・虐待防止対策の強化
- 人と動物の共生と動物愛護施策の推進

7 持続可能な経済・環境



笹目川川遊びに参加

持続可能な環境を

- プラごみ、食品ロスの削減と3R*3の推進
- 県営戸田公園・笹目川・上戸田川等の水辺環境整備
- エコタウン化の推進で持続可能な街づくり

環境と経済の好循環

- 「埼玉県SDGsパートナー制度」の普及と対象企業の支援
- DXによるビジネスモデルの転換と事業再構築支援
- GXの推進でカーボンニュートラルな街を目指す

稼げる強い経済をつくる

- 次世代産業の誘致、スタートアップ支援
- 中小企業の人材確保と幅広い世代の就業を支援
- 埼玉の成長を生み出す産業を振興

8 県民本位の行政・議会



駅頭・街頭演説10年目

クリーンな政治を

- 公正な競争入札の徹底、県内業者への優先発注
- 議員定数削減、費用弁償の実費化
- 情報発信強化による県議会の見える化

多様な主体による地域社会へ

- 市民活動の活性化
- 女性県職員の積極的な登用
- 企業・大学・NPO等の民間との連携強化

次世代の行政へ変革を

- コレクティブインパクト*4の課題解決手法の導入
- DXによる業務効率化で行政をスリム化
- データ駆動型行政で業務精度を向上

*1: STEAM教育=Science(科学)、Technology(技術)、Engineering(工学)、Art(芸術)、Mathematics(数学)の5つを統合的に学習する教育手法。 *2: PBL=「Project Based Learning」の略で、知識の暗記ではなく、自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とする課題解決型学習のこと。 *3: 3R=Reduce(リデュース/減量)、Reuse(リユース/再利用)、Recycle(リサイクル/再生) *4: コレクティブインパクト=行政や企業、NPOや自治体などが枠を超えて協働し様々な社会課題の解決に取り組むこと。